

Kingfisher News

9月に入り、朝晩少しずつ気温が下がっている気がしています。これまで連日の猛暑に加え、全国各地に前線が停滞し、大雨を降らせました。まるで梅雨の時期に逆戻りしたような感じがしていました。大雨の原因は、太平洋高気圧からの暖かい湿った暖気と大陸から流れ込んだ寒気が、日本付近でぶつかるからだとか。暖気はまだしも、寒気の流れ込みがこの時期にも続いていることは大変心配です。

トピック

新しいパネルを作りました(2)

今回は、「新型コロナの影響でCO2排出量は減少したのか(2)」です。

以下の内容は、2022年3月に国際エネルギー機関が発表したGlobal Energy Review:CO2 Emissions in 2021の報告内容をもとにしています。

最も驚くべきことは、2021年の世界のCO2排出量が**過去最高の36.3Gt**になったことでしょう。国際会議を開いてパリ協定などを定めても、一向に減少させることは出来ていないようです。

なかでも中国は、**過去最高の排出量11.9Gt**を記録し、ついに**1国で全排出量の3分の1**を占めるまでになりました。その原因は、新たに石炭火力発電所を設置して、電力の確保を行ったからだと言われています。

その他の国々も排出量を増加させており、2020年と比べて、アメリカが6.7%、インドが10.7%、EUが7.4%となっています。ちなみに日本は、1%の増加でした。

いつになったらCO2の排出削減だけでなく、大気中からCO2を積極的に除去する政策も考えてくれるようになるのでしょうか。

新型コロナの影響でCO2排出量は減少したのか(2)

新型コロナにおけるCO2の排出量の変化②

国際エネルギー機関(IEA)がこのほど発表した「Global Energy Review 2021」によると、2020年に大きく落ち込んだ世界の二酸化炭素排出量が2021年に大きくリバウンドしていることが判明しました。



*中国の2021年の二酸化炭素排出量は、11.9億トンに達し、世界の排出量の33%を占めました。

2021年の米国の二酸化炭素排出量は、2019年の水準を4%下回りました。日本では、2020年に排出量が3.7%減少したものの、2021年には約1%程度増加しました。

出典:IEA統計



活動予定

第16回地球温暖化防止パネル展:

2022年9月1日から13日イオンモール広島府中3階 ベビーガーデン

活動報告

第13回地球温暖化防止パネル展:2022年6月10日から27日LECT2階 CAINS 前

第14回地球温暖化防止パネル展:2022年7月1日から17日福屋広島駅前店 11階 レストスペース

第15回地球温暖化防止パネル展:2022年8月5日から21日イオンモール広島祇園

2階プレミアムガーデン前

詳しくは、ホームページをご覧ください。



TEL: (082) 548-8822 FAX: (082) 548-8833

e-mail: information@ngo-kingfisher.or.jp

<https://ngo-kingfisher.or.jp>